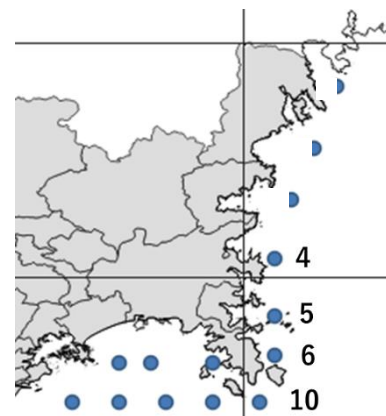


令和3年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

令和3年4月13日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和3年4月12日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で12.1~13.0°Cの範囲にありました。



- 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は最も多かった St. 5 で1,770 細胞/L, St. 4 で1,250 細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *Dinophysis. fortii* は St. 5 で10 細胞/L, *D. acuminata* は最も多かった St. 4 で150 細胞/L 確認されました。

調査地点図

調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)				
				<i>Alexandrium</i> spp.	<i>D. fortii</i>	<i>D.</i> <i>acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月13日	4月13日	4月13日	4月13日	備考
4	4月12日 12:47 84	11	12.4	1,250	0	150	10	<i>D.rudgei</i> :10
5	4月12日 12:07 31	11	12.2	1,770	10	20	0	
6	4月12日 11:32 66	10	13.0	510	0	30	0	
10	4月12日 10:43 83	10	12.1	240	0	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水